

Funehiki High School News vol.156

～がんばる船高生～ **ATTENTION!** 第36回 コロナ禍から日常のありがたさを見つめ直す！ 添田侑里さん、柳沼空さん、塚原海斗さん、本田蓮さん

新型コロナウイルス感染症の影響で、残念ながら今年度のインターハイが中止になりました。しかし、各種競技において3年生最後の活躍の場として、インターハイに代わる代替大会が検討されています。今回は、久しぶりの試合に全力を尽くしたバドミントン部の3年生、添田侑里さん（都路中出身）、柳沼空さん（三春中出身）、塚原海斗さん（大越中出身）、本田蓮さん（西田中出身）の4人に話を聞きました。



— 休校期間中も含めて、部活動ができない約3カ月間をどう過ごしていましたか？

塚原さん 部活動がいつ再開してもいいように、自宅で体力づくりとして筋力トレーニングをしていました。

— インターハイの中止が決まったときはどう思いましたか？

添田さん あまりの衝撃に泣いてしまいました。3年間、部活動を一生懸命取り組んできたのは最後の大会で悔いを残さないためだったので、最後の大会がなくなるという事実が初めは受け止められませんでした。

柳沼さん 私は、添田さんとペアで出る最後の大会がなくなってしまったのが当時はショックでした。

本田さん 僕もです。3年生として出る最後の大会がないのは悲しかったです。

— 先日、県中地区で試合に参加しましたが、それに関してはどうですか？

塚原さん はい、インターハイは中止となってしまいましたが、多くの人たちのご協力のもと3年生の活躍の場として“県中地区バドミントン競技3年生合同練習会”を開催していただきました。

本田さん ダブルス、シングルスともに出場でき、試合数の半分以上は勝つことができたので、本当にうれしかったです。

添田さん 何より、あのまま引退とならず、3年間努力してきたことが形になったことがうれしかったです。

柳沼さん いつも以上に緊張しましたが、力を十分発揮できました。

— 最後に、今回のことを通じて感じたことや伝えたいことは何ですか？

塚原さん 毎日、部活動ができることが当たり前ではないということや、限られた時間のなかで練習をするということが大切だということを忘れないでほしいです。

添田さん 私たち3年生は、これで引退となりますが、来年こそはインターハイが開催され、後輩たちには出場してもらいたいです。

本田さん インターハイの中止で悲しい思いをしたのは僕たちだけではなく、全国の高校3年生が味わっていることだと思います。他の部活動の仲間も夏にある代替大会で頑張ってもらいたいと思います。

柳沼さん 私たちは、これから就職や進学といった個人のそれぞれの目標に向かって進んでいきますが、この3年間部活動を通して得た友情や辛いときに励まし合ったことを忘れず、自分の目標を達成できるよう頑張るので、後輩たちもぜひ頑張ってもらいたいと思います。

◆「船高アクティブリーダー育成プロジェクト」が始動しました！

今年度、「船高アクティブリーダー育成プロジェクト」と題して、震災と福島第一原子力発電所事故から9年経った都路町の風評被害について調査し、都路町の農家の方などとの交流を通じて、魅力を再発見するプロジェクトが始動しました。将来の地域のリーダーとして活躍すべく、1・2年生を中心に30人が参加しています。活動の様子は学校HPなどを通して随時発信していきたいと思ひます。



福島県立船引高等学校 Tel...0247-82-1511 Fax...0247-82-5233
H P...https://funehiki-h.fcs.ed.jp mail...funehiki-h@fcs.ed.jp



Jesse Cade
ジェシー・ケイドさん
(アメリカ合衆国
テキサス州出身)
田村市に来て8カ月目

皆さん、こんにちは。今年、初めて日本の夏を経験します。友人たちや職場の人たちは、猛烈な暑さと湿気に備えることと、家の中をいつも涼しくしておくようにと教えてくれました。日本では、8月が一番暑い月だと聞きましたが、テキサス州も同じです。

私はテキサス州のダラス市出身で、8月は、気温が四十度以上まで上がる場合があります。外出する時はいつでも日焼け止めを塗らなければなりません。大学の時は、サマー・キャンプで活動していたので、子どもたちを熱中症などから守ることが私の大切な役目の一つでした。

日本では、気温が四十度近くまで上がることはなく、湿度がとて高いと聞きましたが、テキサス州もとても暑くなりました。ですが、夏にできることがたくさんあります。私は人気の高いハイキングコースがたくさんある

テキサス州の夏



テキサス州中央部の大学に通って来ました。日本のような山々はありますが、ハイキング、水泳、釣り、キャンプ、ゲームなどができる州立公園がたくさんあります。夏はとても暑いので、多くの人がカヌーやカヤックなど、水に関係のあるいろいろな活動をします。暑い夏の日のは、川で泳いだことが懐かしく思い出されます。特に暑い日は、バーベキューや、ステーキ、ホットドッグ、ハンバーガーなどを作って楽しめます。よく近所さんが家族や友人たちを集めて、おいしい料理や、ゲーム、会話などを楽しむ「野外料理(クックアウト)」をします。

「野外料理」は、夏の行事の中でも私の大好きなことのひとつです。テキサス州における一番良い季節は夏だと思ひます。夏は、日焼け止めと帽子、そして水を

海を越えて 英語指導助手 ペンリレ No. 85



Catherine Lewis
キャサリン・ルイスさん
(アメリカ合衆国
オハイオ州出身)
田村市に来て2年目

その瞬間はいつ起きるか分からない。突然、忍び寄ってきた私を驚かせる。何をしようかと考えていると、魂を揺さぶるような古典的ソウル・ミュージックが流れ始め、私は曲を口ずさむ。そして、すばらしい旋律に合わせて9人のミュージズ(女神)たちが踊り出すのだ。

この時こそ、私がサマータイム・シュリンプ・ポイルを食べたくなる瞬間である。

心が沸き立つ夏の訪れとともに、私は喜んで準備を始める。必要な物は何かを考え、食料品店へ向かう。家の食料品棚には、調味料とレッドポテトの十

よく飲むことを忘れないでください。そうすれば、ハイキング、水泳、人懐っこい人々との楽しいバーベキューなどたくさん楽しめます。そして、夏にテキサス州を訪れたことは、きっと忘れられない思い出になることでしょう。

エビをゆでる夏のひととき



分な備えがあるので、必要なのは、スパイシー・ソーセージ、穂軸の付いた新鮮なとうもろこし、そして何と言ってもエビ！そう、肝心のエビがなければ、サマータイム・シュリンプ・ポイルは始まらない。準備が整ったところで、水に調味料を入れ、ポテトとうもろこしを加えて、ソーセージを加え、そして最後にエビを入れて、赤くなるまで茹で上げる。エビがゆで上がる間に、テーブルの準備をする。テーブルクロス代わりの古い新聞紙、レモネードとスパイスを和らげるための少量の牛乳を用意し、アレサ・フランクリンの音楽を流す。すべての準備が完璧に整い、ついに私の大好きな時間がやってくる。友人のためにテーブルいっぱい並べた料理を皿に取り分け、ご馳走にかぶりつく。パーティーの始まりだ。